

学校だより

平成29年9月1日発行 第5号

朝霞市立朝霞第四中学校
〒351-0012 朝霞市栄町5-1-60
TEL: 048-466-4711
FAX: 048-467-4744
E-mail: 4chuu@asaka-c.ed.jp
文責: 校長 唐松 善人

目指す学校像 一人一人が輝く 明るく楽しい学校 あたたくきれいな学校

続ける



この夏、私が小学生のときによく遊んだ友人に久しぶりに会いました。よく遊んでいた頃、その友人はとても穏やかな性格で優しい面をもっていました。久しぶりに会ってみると、友人には当時のような優しい面影がある一方で、芯の強さを感じました。どうしてそのような芯の強さを持ち合わせるように変わったのか、私はとても興味がわきました。

友人は、高校に入学した頃、あまり勉強をする気にはなれず、部活にも入らなかったそうです。そして、もともと体も丈夫ではなかったこともあり、他人からよくからかわれたとのことでした。当時の友人にとって、他人は誰でも、自分より体も心も強い存在に思えました。

友人は、「なんとかして自分自身を変えたい。他人よりも強くなりたい」と思いました。そして、空手の道場に通い始めました。空手を始めることで強くなり、他人を見返したいと考えたのです。そして、2年間、必死に空手の稽古に励み、体を鍛えました。

やがて空手の大会に出場しました。しかし、大会に出ても一度も勝てずに負け続けました。強くなるために、空手の稽古に真剣に取り組んだのですが、結果には表れません。友人は、「これだけ稽古をしても強くなれないのだから、空手を辞めようか」と悩みました。いくら稽古をしても勝てないのならば、空手を続ける意味がないように思えたのです。

友人が道場の先生に相談したところ、空手を続けることを勧められました。「続けていれば、勝てるようになるかもしれない。仮に負け続けても、少なくとも途中で辞めた人には勝ったことになる。ここで、一つの勝てる道が見つかる。それに、空手の本当の強さとは、大会で勝つことだけではない」とアドバイスを受けました。友人は、道場の先生の話聴いて、空手を続けることにし、50歳を過ぎた今でも空手を続けています。

さて、現在、友人は会社を経営して活躍していますが、空手を「続ける」ことがとても役だったといいます。空手を「続ける」ことによって、負け「続ける」ことによって、相手の気持ちを理解できたり、困難を乗り越える力が身に付いたりしたそうです。

長い人生の中で、すべてが自分自身の思い通りになる訳ではありません。思い通りにならない状況の中にあっても、自分の意志で一つのことを「続ける」ことはとても大切なことです。本校の生徒にも、一つのことを「続ける」ことの大切さを日々の教育活動を通して理解させたいと改めて思いました。



四中の様子



【鳴子けやき四中】

鳴子けやき四中が、8月4日(金)彩夏祭前夜祭と5日彩夏祭(土)に参加をしました。躍動感あふれる演舞に、多くの拍手をいただきました。



【有志による合唱団】

NHK学校音楽コンクール埼玉県予選に、本校の生徒が出場しました。限られた練習時間を有効に使い、気持ちを一つにまとめあげた歌声を披露しました。



【救急法の研修会】

校内研修にて、外部から講師をお招きし、心肺蘇生法やAEDの実技等を行いました。講師の方からは、最新の情報を提供していただき、参考になりました。